

取扱説明書

667型 完成品

[1] 特 徴

家庭用電源(AC100V)で専用充電器を用いて フル充電(36時間)で約12ヵ月駆動する
電池交換を必要としない充電式アナログクォーツです

[3] 時刻合せ概略案内

時刻の合わせ方

時刻合わせをするときは針を正回転に回しておよその時間に合わせ、最後に5分程度逆転させ時間合わせを行ってください。

機種
662



りゅうずを引き出すと秒針が止まります。あらかじめ秒針を0秒の位置に止め、りゅうずをまわして時・分針を正しい時刻に合わせて、時報と同時にりゅうずを軽く押し込んでください。

機種
661・663・667



りゅうずを1段引き出した位置でりゅうずを右(上方向)へまわして日付を合わせます。【午後9時～午前1時の間での日付修正は避け下さい。(時計の針がこの時間内にあるときに日付修正を行いますと、日付は変わりません。)】

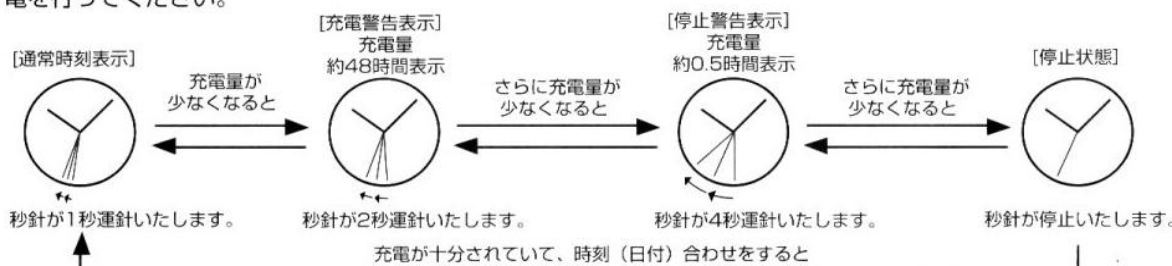
りゅうずを2段引き出すと秒針が止まります。あらかじめ秒針を0秒の位置に止め、りゅうずをまわして時・分針を正しい時刻に合わせて、時報と同時にりゅうずを軽く押し込んでください。この場合、午前と午後をまちがえないようにしてください。

※まず時刻(時・分)を合わせ、それから日付を合わせてください。

※小の月の翌月1日に、日付を修正してください。

充電時計の特有の機能について

この時計は充電量が少なくなると秒針の動きで確認することが出来ます。充電不足になりましたら速やかに充電を行ってください。



●充電警告表示機能

充電量が残り少なくなると秒針が2秒づつ進みます。(2秒づつ進んでも時刻は正確です。) 最短で48時間以内に止まる可能性があります。

●停止警告表示機能

充電不足状態をさらに放置しておくと秒針が4秒づつ進みます。(4秒づつ進んでも時刻は正確です。)

※この状態になりますと最短0.5時間で電池が切れる可能性があるので速やかに充電をしてください。

尚この時計は仮に停止状態であっても、充電開始後速やかに機能復帰致します、時刻を合わせ直してご使用ください。

チャージランプ(充電状況確認ランプ)の見方

時計の文字板6時付近(文字板下部)に充電状況を確認できるチャージランプが内蔵されております。チャージランプはLED①(点灯時赤色)とLED②(点灯時緑色)の2つあり、充電器に載せるとランプが点灯し充電状況がわかります。

(注意) チャージランプは充電中のみ点灯します。携帯時は点灯しません。時計のモデルや室温によって充電状況が変わります。あくまでも目安としてご使用ください。

○チャージランプの点灯期間

LED①(点灯時赤色) …充電量が約0ヶ月～約9ヶ月の範囲で点灯、約9ヶ月～約12ヶ月の範囲で消える(消える状態としては薄く点灯している場合もあります。)が時々点灯状態になります。

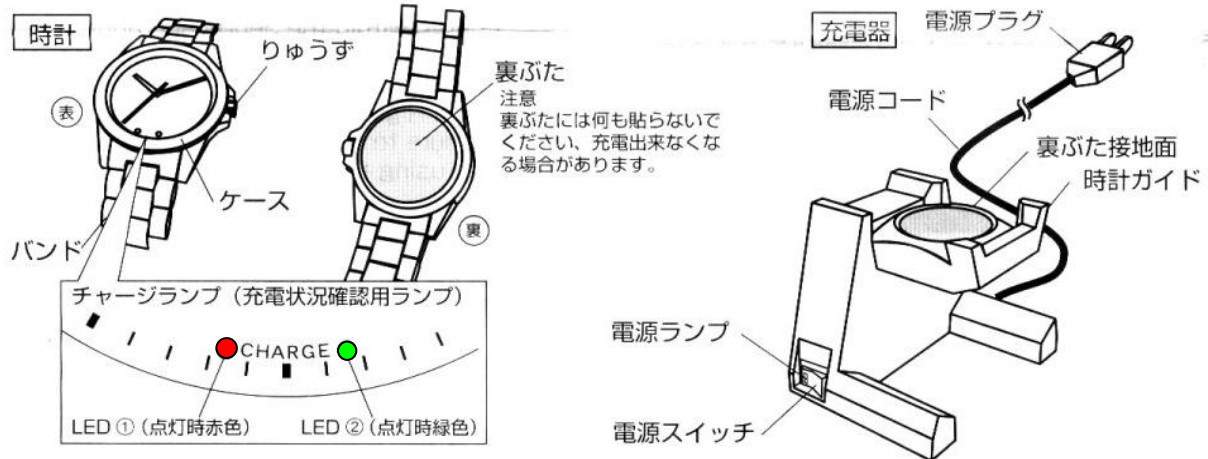
LED②(点灯時緑色) …充電量が約1.5ヶ月～約12ヶ月の範囲で点灯

※フル充電時間……約36時間(時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間)

○チャージランプ点灯状態と充電時間・充電量のめやす

時計が停止状態からの充電時間	0～4.5時間	4.5～27時間	27～36時間
充電量	0～1.5ヶ月	1.5～9ヶ月	9～12ヶ月
LED①(点灯時赤色)	点灯	消灯	時々点灯
LED①の明るさ	明	暗	● あるいは ☆☆☆
LED②(点灯時緑色)	消灯	点灯	
LED②の明るさ	●	暗	明

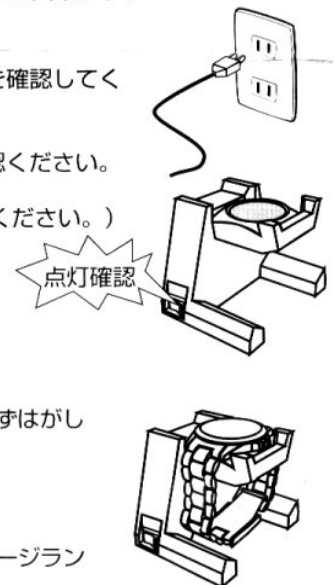
※充電時間は連続して充電した時間です。



充電の仕方

充電方法は時計の裏ぶた面を下にして、充電器に載せるだけで簡単に充電することが出来ます。

- ① 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。
AC100V以外の電源でご使用にならないで下さい。故障の原因になります。
- ② 充電器の電源をスイッチONにしてください。（この時電源ランプが点灯する事を確認してください。）
- ③ 時計の表面（ガラス面）を上にして、図のように時計を充電器に載せます。
置いたときに時計の文字板6時位置付近のチャージランプが点灯しているかご確認ください。
点灯しない場合、充電されません。
（チャージランプ点灯の詳細については、「チャージランプの見方」を参照してください。）
- チャージランプが点灯しない場合
チャージランプが点灯しない場合多くの原因として、裏ぶたと裏ぶた接地面にスキ間が発生している可能性があります。その場合下の「●充電方法のご注意」をお読みください。
- 充電方法のご注意
 - ・裏ぶたに透明の保護シールの確認
ご購入時に一部の商品には裏ぶたの傷防止用保護シールが付けてありますので、必ずはがしてから充電してください。
 - ・充電器と時計の裏ぶた面の汚れの確認
裏ぶた接地面のホコリ、時計の裏ぶたの汚れ等を落としてから載せてください。
 - ・バンドの位置の確認
時計を充電器に載せる際、バンドが時計を浮かしてしまう場合がありますのでチャージランプが点灯するよう裏ぶたと裏ぶた接地面にスキ間が無い様に調節してください。
- ④ 充電状況を時計の文字板にあるチャージランプで確認後、充電器より取り外してご使用ください。
- 充電後のご注意
 - ※充電後少しのあいだ時計・充電器ともに若干暖かくなりますが異常ではありません。
 - ※充電器はREQ専用です、「REQ」以外にはご使用にならないでください。
- ⑤ 十分な充電量を確保して使用していただくため6ヶ月に1回程度充電することをおすすめします。
- ⑥ 長期間充電しない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



充電器

充電システム	電磁誘導方式	大きさ	スタンド: W59×L67×H72mm ACアダプタ: W51×L62×H40.5mm
電源電圧	AC100V 50/60Hz	重さ	スタンド: 60g ACアダプタ: 230g
使用環境	屋内（風呂場、台所等高温多湿でないところ）	材質	プラスチックABS樹脂
消費電力	2.5W（充電時）		
動作環境	0℃～40℃		

二次電池の取り扱いについて

この時計に使われている二次電池は充電・放電を繰り返し行えるため、一般電池のような定期的な電池交換の必要がありません。

二次電池の取り扱いについて



注意

- ※お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
- ※やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため幼児の手の届かない所に保管してください。
- ※二次電池を万が一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談して治療を受けてください。
- この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。無理に銀電池など他の種類の電池を使い万が一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険がありますので、絶対におやめください。
- ※二次電池を他社の充電時計または一般の時計には使用しないでください。

充電器の取扱い上のご注意

感電、発煙、火災の原因となる場合がありますので必ずお読みください。

●充電器使用上の注意

○電源及び電源コードの取扱い

- ・充電器のコンセントは必ずAC100Vを使用してください。（海外でのご使用はおやめください。）
- ⚠ 注意 ・電源コードが痛んだら使用しないで下さい。
- ・電源プラグをコンセントから抜き取る場合は必ず電源プラグを持って抜いてください。
- ・電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

○水などの液体に対しての取扱い

- ⚠ 注意 ・充電器を濡らさないで下さい。
- ・濡れた手で充電器、電源コードに触れないでください。
- ・万一水などの液体が充電器にかかった場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜き取ってください。

○その他

- ⚠ 注意 ・分解、改造をしないでください。
- ・充電中に充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

●充電器の磁気について

- ・充電器に磁気カードなどを近づけないでください、磁気データが消えてしまうことがあります。
- ⚠ 注意 この充電器は微弱ながら磁気を発生させます。したがってフロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気記録を利用しているものやラジオ・テレビ・医療用電気機器に影響が出る場合がありますので充電器に近づけないでください。
- ・「REQ」時計以外のものを載せると高温となり、危険な場合がありますので行わないでください。

●設置場所のご注意

充電器の設置場所によっては危険な場合がありますので、下記注意事項をお守りください。

○落下してけがや故障の原因となる場合

- ・ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所の設置・乳幼児の手の届く場所の設置

○機器の変形、故障の原因となる場合

- ⚠ 注意 ・湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所の設置
- ・直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所での設置

○感電の原因となる場合

- ・風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。

●充電器のお手入れのご注意

充電器本体は水洗いできませんので柔らかい布などで乾拭きしてください。特に汚れがひどい場合には硬く絞った布で水拭き後乾拭きし、良く乾燥させてからご使用ください。

- ⚠ 注意 ・感電の恐れがありますので、水拭き前に必ずコンセントを抜いてからお手入れしてください。
- ・充電器の変色、変形の恐れがありますので、シンナー、ベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・火災の原因となりますので、電源プラグについたほこりは拭き取ってください。

●充電器の保管について

充電器を使用しない時はコンセントから電源プラグを抜き、専用ケースに入れ高温・多湿の場所をさけて保管してください。